



郡中学校通信 No31

学校教育目標 「自ら行動、達成して感動」
校訓 「自主・自律・連帯・創造」

郡中ビレッジ 美・礼・時

チーム郡 思いを力に!

R4. 1. 11発行 文責 校長 松崎大樹

2022年も「チーム郡」をよろしくお願いします!

【校訓】

「自主」自分の頭で考えて、主体的に動き

「自律」仲間を思い、けじめある行動に努めると

「連帯」お互いの存在を大切に思う心と絆が生まれます。「創造」その時、チーム郡として新たな感動を作り出せるのです。

保護者の皆様へ

令和4年が始まり、本日3学期始業式を迎えました。しかしながら、新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が日本中で猛威をふるっており、長崎県においても新型コロナ感染者数が急増する中で、オミクロン株の市中感染も確認されました。中学校としても、改めて感染症防止対策を徹底し、私達の学校生活の日常をしっかりと守ると共に、「コロナ禍でもできること。」という創意工夫の思いを大切にしながら、「チーム郡」は、この2022年も生徒、職員、保護者、地域の思いを力に変え、学校教育目標の具現化に向けて邁進して参ります。また、少しでも早く新型コロナウイルス感染症が終息し、新しい年が全ての生徒、そして保護者の皆様にとりまして、充実した、幸多き年になるように願っています。引き続き、本年も、本校に対して温かいご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。
校長より

新しい年の始まり=3学期は、令和3年度の締めくくりにあわせ、 令和4年度のスタート=新生活に向けた0学期なのです!

令和4年度3学期のスタートに向けて

生徒のみなさんへ

新年、明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が世界中で猛威を振るう中での2022年の幕開けとなりました。間違いなく、人類の歴史の中で、ウイルス対策における大きな転換期を迎えており、コロナ禍における不安が蔓延する現在、将来が見通せないという人々が多くなっていることも事実なのでしょう。しかし、生徒のみなさんには、自らが、この大きな変化に影響を与えられる存在になれるということをしかりと認識してもらい、その存在になるための勇気を持ってほしいと思います。

確かに、コロナ禍の中、私たちの現在の日常には、多くの心配や不安、苦労や困難があります。そして、また、生活の中での不便さや不自由さが溢れています。それだけに、苦労や困難に対応していくことに心がとらわれがちですが、このような時だからこそ、これまでの常識に縛られない、新しい考えやモノを生み出すこともできると考えてほしいのです。そして、このコロナ禍の中、その不便さ・不自由さを乗り越えるために、新しいアイデアや小さな試みがたくさん生み出され、その中で構築されてきた新しい技術もたくさん存在してきているのも間違いのない事実なのです。

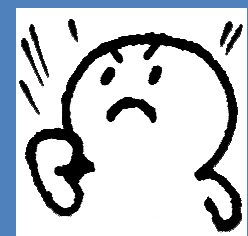
これからの社会では、創造性を持った人々や企業が注目され、加速度的に日常生活の中身が変わっていくと思います。そして、その社会を支え、その中心を担うのが、まさに私の前にいるみなさんなのです。だからこそ、決して今からの時代に悲観的になることなく、未来の空白を自らの希望で埋めてほしいと思います。そして、今から始まる自分の将来に対して「自分のやりたいこと」に挑戦する勇気をしかりと持ってほしいのです。将来に希望を持った人は、困難に直面した時でも、決して人や環境のせいにすることなく、前向きに挑戦し続ける人だと思えます。また、「自分のやりたいこと」に挑戦する勇気を持ったみなさんの未来には、今、みなさんが考えている以上に、楽しいことがあふれ、充実した毎日が待っていると思うのです。

つまり、将来のみなさんは、想像もできないほど大きなことをやり遂げて、多くの人々を幸せに導ける、大きな可能性をもった存在になりうると思うのです。

2022年の3学期の始まりに際し、現在のコロナ禍や、目の前の受験や日々の学習にへこたれることなく、「自分のやりたいこと」に挑戦する勇気を持った生徒たちが、私の目の前にたくさんいることを信じ、私の3学期始業式の話とします。

新しい年も「チーム郡」として、しかり頑張っていきましょう。 校長より

2学期終業式では、各学年の生徒代表が、これまでの生活を振り返る中で、新たな年に向けて固い決意を語ってくれました。一部抜粋で紹介させていただきます。



僕は、小学一年生からクラブチームでサッカーをしています。一つ一つのプレーを真剣にすることはもちろん、中学生になると練習時間が夜まで続くようになったため、家庭学習をする時間が少なくなり、一学期は苦労しました。二学期になり、勉強とサッカーの両立ができ、充実した生活ができました。これらの経験を踏まえて、自分の改善すべきことや学級の総務として学級を良い方向へ導けるように常に努力し、成長していきたいです。1年代表 瀬戸口陽大

二年生の三学期は、三年生の0学期と聞きました。私達は、残り三ヶ月でしかりと準備をして、三年生になった時に良いスタートが切れるようにしていきたいです。その為にも勉強する習慣を確立していきたいです。また、体育大会や合唱コンクールで得られた一致団結し協力することの大切さを忘れることなく、生活面でも気を抜かず、「危機感」を持って、一杯残りの時間も大切にしていきたいです。2年代表 池田菜生

二学期を振り返ってみると、私は行事を通して成長できた実りある学期だったと思います。クラス、学年全体の団結力が高まっただけでなく、仲間との思い出も多く作ることができました。これから私達は、行事に注いでいた「本気」を受験に向けていきます。三年生一人一人が健康管理を行いながら、しかり勉強に励み、合格という大きな目標を達成できるよう努力していきましょう。そして、卒業するときには、三年生全員が郡中生として誇りを持てるよう、あと三ヶ月頑張っていきます。3年学生代表 金子真優

令和3年度「2学期期末テスト」の結果をお年玉としてプレゼントします！ 私立・公立高校入試 2/7・8 全学年学年末テストに向けて巻き返しを図りましょう！

覚えていますか？
2学期期末テスト前
の約束を！

2学期期末テストに 必死に取り組む

「チーム郡」として全学年で、日々の授業、家庭学習に真剣に取り組む、2学期期末テストの全ての教科における平均点を、2学期中間テストの平均点よりUPさせる。そのことで、3年生調査書の点数UP、全学年2学期通知表の評定UPを目指す！

定期テストにおける学年平均

| 学年 | 定期テスト | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 英語 | 合計 |
|------|-------|------|------|------|------|------|-------|
| 第1学年 | 1学期期末 | 57.7 | 72.3 | 48.6 | 67.3 | 66.7 | 312.6 |
| | 2学期中間 | 75.0 | 54.1 | 53.8 | 47.8 | 53.7 | 284.4 |
| | 2学期期末 | 59.2 | 55.5 | 55.2 | 48.9 | 61.3 | 280.1 |
| 第2学年 | 1学期期末 | 59.4 | 47.8 | 60.4 | 65.0 | 49.4 | 282.0 |
| | 2学期中間 | 60.5 | 47.6 | 59.6 | 62.4 | 50.5 | 280.6 |
| 第3学年 | 2学期期末 | 60.8 | 60.8 | 54.8 | 58.6 | 50.0 | 285.0 |
| | 1学期期末 | 63.1 | 60.4 | 51.8 | 56.4 | 65.3 | 297.0 |
| | 2学期中間 | | | | | | |
| | 2学期期末 | 47.1 | 63.2 | 46.3 | 62.9 | 55.8 | 275.3 |

【結果②】
○また、2学期期末テストにおける度数分布から判断すると、**各学年とも学力の2極化が起っています**。この学力の2極化は、学習に対する取組の2極化でもあり、授業中の集中度や課題への取組が、結果として、学力の差として現れている場合も多いのです。

しかし、学力というものは、諦めることなく学習に取り組めば、必ず今よりは上がっていくものです。そして、それがみなさんの可能性なのです。確かに、学習に取り組んだからといって、すぐに成績が上がらないこともあります。そこを頑張ると、確かな学力や集中力・継続力といった力が間違いなく得られるのです。今が頑張りどころだと思います。そして、そんなみなさんを先生方と共にしっかりサポートしていきたいと思ひます。

5教科合計
200点以下の
生徒の割合

1年→23.9%
2年→27.4%
3年→22.6%

【結果①】
○各教科におけるテスト範囲や出題内容の難易度が異なるため、一概に判断するのは難しいのですが、データから判断すると、**努力の跡は感じられますが、残念ながら2学期期末テストの全ての教科における平均点を、2学期中間テストの平均点よりUPさせることは難しかったようです。**（※3年生は1学期期末との比較）

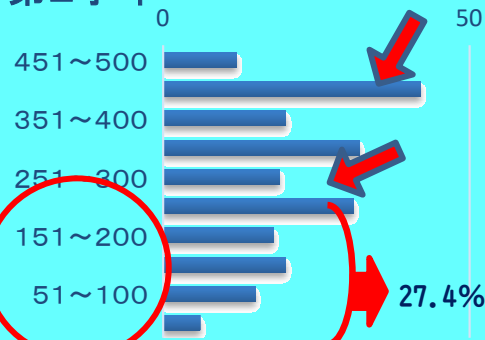
2学期期末テストにおける度数分布表

※ は、度数分布の山を表しています。

第1学年



第2学年



第3学年



みなさんが毎日取り組んでいる学習の目的は、改めて、何のためなのでしょう？ 良い成績を取るため？ いい高校に入るため？ 間違いではないと思ひますが、それはあくまでも手段であって、目的ではありません。みなさんの毎日の学習の目的は、皆さんの人生の中で一番長い時間を過ごすことになる働く時間の中で、まずは自分自身が経済的にも、社会的にも自立し、自分の夢や希望を果たすためなのです。これを「自己実現」といひます。

しかしながら、今の時代、人生の中で一番長い時間を過ごすことになる働く時間の中で、自分が満足できるような状態を手に入れるためには、当然ながらしっかりした考え方や準備が必要なのです。まずは、なりたい職業に就くためには、どんな進路を歩んでいけばいいのかが真剣に学び・知る必要があると思ひます。また、収入も大切な要素の一つです。厚生労働省の資料によると、H30年度の初任給の平均額は、大卒が20万6,700円、高卒が16万5,100円となっており、生涯賃金で比較すると、大卒が約2.5億円に対し、高卒は約1.8億円となっています。このように、自分自身が経済的に自立するためにはどれくらいの収入が必要か当然ながらしっかりと考える必要があります。さらには、高卒で就職しようとしても、文科省の令和2年の統計によると普通科の就職率は8.3%に対し、工業・商業や調理科等の専門学科は54.1%と非常に高く、当然ながら高卒で就職するなら専門学科への進学が有利となっています。しかしながら、専門学科に進学したとしても、就職を有利にするための資格を取得するには当然ながら国家試験等の受験合格を目指してさらに勉強していく必要があるのです。

このように、収入や高校選択の視点から見ただけでも、人生の中で一番長い時間を過ごす働く時間を考えるということはとても大切なことがわかつて思ひます。そして、人生の一番長い時間を過ごす働く時間の中で、自己実現を果たすためには、これからも日々の学習が大切なことをしっかりと認識してもらひたいのです。

日々の学習の目的は、自分の将来において、なりたい自分になるための自己実現なのです。そして、日々の学習が、その将来の自己実現を叶えてくれるのです。3学期は、春のスタートに向けた0学期です。自分の可能性を信じて、日々の学習に粘り強く取り組んでいきましょう。みなさんにとって、新しい年である令和4年が、幸多きことを願っています。

全ての生徒にとって、3学期は、春の新たなスタートに向けた0学期です。今一度、「日々の学習の目的」について考えてみましょう。